

## 北広島市長期総合計画審議会 第2回 専門部会長会議 議事録

\*\*\*\*\*

■日時 平成22年1月13日（水） 18：30～21：30

■会場 北広島市役所本庁舎2階 応接会議室

■出席委員 村山紀昭会長、伊藤寛部会長、杉本修部会長、長井敏行部会長

■事務局 高橋通夫企画財政部長、木下信司総合計画課長、  
前野康弘総合計画課主査、川村裕樹総合計画課主任

\*\*\*\*\*

### 1 開 会

### 2 会長あいさつ

### 3 議 事

#### (1) 総合計画原案について

事務局から、審議事項について説明があった。

- ・本日の議題について
- ・12月16日の全体会議の際に頂いた各部会からの基本計画の確認
- ・重点プロジェクト案
- ・総合計画基本計画の達成目標一覧の確認

#### ◆達成目標について

【事務局】まずは別紙の達成目標一覧から確認していただきたい。

【会長】第1章第1節の乳児検診受診率が高いのは当たり前のことで、達成目標になりうるのか。健康教育とは何か、非常にわかりにくい。

【事務局】市で実施している糖尿病教室やマタニティスクールの中での健康教室を指している。

【会長】3つ目のがん検診受診者数は何を対象としているのか。

【事務局】年齢は関係なく、胃がんや肺がん検診などが対象となっている。

【会長】全国標準がどの程度で、北広島市の受診者数はこのくらいのパーセンテージとい

うものでないとこの指標自体の意味がないのではないか。救急医療の受診率を高い目標にするのはおかしくはないか。健康教育参加者数は学校でも行っていると思うが、市が主催で行うものだけが対象となっているのでそれについては説明が必要だ。乳児検診受診率と救急医療受診率は削ってもいいのではないか。目標が数値化されていなく単に増加としか書いていないものは指標にはなじまないのではないか。ボランティア団体はこんなに少ないのか。社会福祉協議会事業への参加率のかつこ内にある総利用者数は参加者数に変えたほうがいいのではないか。それから、第3節の「定員」というのは、どういう根拠により出した数字なのか。

**【事務局】** 入所希望者で出した数字である。

**【会長】** 認可保育所定員も学童クラブ定員数も、この数字だけで目標値になるのか。児童センター利用者数はいいとしても、認可保育所定員と学童クラブ定員数は要検討である。第4節も具体的な数字が書けないのかもしれないが、これも増加としか書いていない。1つ目の「福祉施設から一般就労への移行者数」や2つ目の「施設入所者の地域生活への移行者数」も指標にはなじまないのではないか。第5節で4つ目の「居宅介護サービスを受けているという人」だけを指標とするのはどうしてか。どれも達成目標になじまないのではないか。第6節の生活保護率を高めるというのが目標なのはおかしいし、なぜ増加とするのか。自立率を高く設定するのはいいが。第2章第1節の「教育内容の充実」の満足度はどうやって出したのか。

**【事務局】** 一般市民に対して行った総合計画のアンケートの数値である。

**【会長】** 第2節の「学校経営プログラムによる学校経営の推進校の割合」とは何か。項目の説明がないので、数値の目標を出されてもわからない。

**【部会長】** 少なくとも、増加とだけ書かれているところは意味がないのではないか。

**【事務局】** こういった数値目標により進行管理していきたい。達成目標そのものを説明してわかりやすく1つか2つに絞ったほうがいいたろうか。

**【会長】** 数値目標にとらわれ過ぎていないか。目標を文章で書いて、意味のあるわかりやすいものを数値でいくつか出したほうがいいのではないか。施策に基づいて、達成水準の程度を意識した文言を2～3行で書けるかどうかだが。

**【部会長】** 施策と目標が完全に一対一で対応していない。施策の中で数値化できるものだけを選び出している。

**【会長】** 分野ごとの達成目標はやめて、別冊で設けたほうがいいのではないかな。本当に必要な数値化できるものだけ選ばばいいのではないかな。総合計画達成の数値的指標というタイトルで別冊にしてしまう。第3章にある公共施設耐震化率や公園緑地1人当たり面積というものよりも、リサイクル率というものが必要になってくる。目標として意味のあるものを残していくべきだ。第1章から意味のあるものをピックアップしていくと、各種がん検診受診者数、ボランティア団体数はいいのではないかな。不登校児童生徒数割合はどうだろうか。これを発表するのなら教育委員会とも話し合わないといけない。

**【部会長】** 全道平均・全国平均があって比較するならいいが、この数字だけ出されても良くわからない。不登校の基準なども明確ではない。

**【会長】** 全国的に見るとこの数値はとても低い。数字のマジックで現実はいくらほど低くないと思う。この数値の出し方や出すことでどんな意味があるのかも合わせて伝えるべきである。様々な満足度の達成目標があるが、誰を対象に調査しているのかがわからない。ホールの年間稼働率がいいと思う。体育施設利用者数もいい。第3章、環境に関しては数値を出すことに意味がある。一人一日あたりのごみ量など数値としてどういう意味があるのかの説明があるといい。一般市民が関わる問題なので大切だ。緑地面積はこれ以上増やせないのではないかな。公共施設耐震化は必要である。第4章、耕作放棄地面積に関しての算出根拠は大丈夫なのだろうか。「認定農業者の農地集積総面積」は全く変わっていないので目標に入れる意味がないのではないかな。農業粗生産額や新規就農者数はあってもいい。小売店舗数や商業販売額を指標に載せるのはどうなのかな。22ページの推計値によると、どの産業も全然増える見込みがない。この数値を踏まえながら目標を決めた方がいいのではないかな。

**【事務局】** 企業立地数は工業団地に立地している企業数で、余剰地がまだあるので建設できる。

**【会長】** できないことを目標値にするのは問題がある。新規雇用者数という目標があればいいが、出すのは大変だろう。第5章、市営住宅建替率は具体的でいい。市営住宅入居率は基本100%ではないのかな。「住宅供給の充実の満足度」は指標になりにくい。道路の充実の満足度など、「満足度」は目標値になるのだろうか。生活道路の整備率も既に90%以上なら、あまりいい目標にはならない。住民感情から言うと、水道料金収納率を目標にするよりも、料金を下げることが目標にするのがいいと思うが。第6章第4節の実質赤字比率などは公表できるのかな。

**【事務局】** 既に公表されており問題はない。

【会長】目標として数値を立てる必要はあるのか。実質公債費比率の9%が適切かどうかというのはわからない。比率を下げるのがいいとは言えない。将来負担比率は意味のあるものだと思う。市職員数は数字を公表できるのか。定員適正化計画で定めるのであれば、総合計画で出す必要はないのではないかと。

【事務局】平成26年までの将来目標は出ているが、平成27年以降は決まっていないので、総合計画に具体的に職員数を記載するのは難しいと思う。

【会長】これら達成目標を各部に戻して、もう一度整理してもらうことができるか。

【事務局】整理することはできる。各節で1つずつでも指標は入れておきたい。

【会長】入れておきたいのは分かるが、もっと吟味する必要がある。

【事務局】数を減らして意味のあるものだけ、注意書きを入れて別添資料として入れる方法で作直す。

【会長】来週の審議会で終わりではないので、また中身を見たい。市の大事な指標を5から10個くらい並べてみるほうがいいのかも。市全体として生産額やごみ処理率などの数字で表現すべきものを挙げてみたほうが早いと思う。各節に1つというまではないかもしれないが。まずは、木の幹を見えるようにしてから、葉っぱをつけていく方がいいのではないかと。満足度はあまり根拠がないので、目標値にするのは気をつけてほしい。指標を立てるときに、カテゴリーに分けた方がいい。人口が達成目標であってもいい。

#### ◆序論等について

【事務局】基本計画の6章の中に「政策評価」があったが、節として扱うのをやめて、原案19ページ「基本計画」の「2 計画の進行管理」の中に盛り込んだ。

【部会長】「市の特色」の「1 水と緑豊かな自然環境」の第二段落目に「札幌恵庭自転車道線」とあるが固有名詞なのか。

【事務局】道路の正式名称である。恵庭まで延伸したため、名称から「北広島」が抜けた。

【会長】序論はグラフが多すぎて、冒頭からくどいような気がする。あまり読む気がしない。他市でも同様なのか。

**【事務局】** 計画の本論に入る前に、数値的現況をきちんと押え、課題を見つけ方向性を決定する流れが他市でも通例である。グラフは他市でも結構使用している。製本時にはもっとゆとりをもってグラフや写真を掲載できると思う。

**【部会長】** 序論は、グラフと文章が交互に出てきて不整合な感じを受ける。

**【事務局】** 序論をあまり簡単にすると、場合によっては「ちゃんと実態を把握して策定しているのか」という批判を受けかねない。

**【会長】** ならば、別紙資料集を作ればいいのであって、弁解のために計画を作るのではない。文章の体裁としておかしいし整合性がない。「市の現況」にはなぜ、人口・世帯と産業・経済しかないのか、もっと他にも要因があるはず。「市の現況」は「市の人口及び産業の現況」と改題し、グラフを抜き文章のみでよいのではないか。

**【事務局】** グラフは視覚的に見やすくしたものであり、必要なことは文章に書いてある。

**【会長】** このグラフは国勢調査という公開された統計結果なので、わざわざ掲載する必要はない。「市民意識等」も同様で、グラフ不要である。

**【部会長】** 「市民意識等」は最初からグラフを丹念に読み込んでいかなければならない体裁なので、「1 市民の意識」と「2 公益活動団体の意識」を要約して1～2ページ程度のコンパクトな形にできないか。トピックスを4～5つ掲げ、見出しを見ただけでも分かる体裁に統一すべき、この項だけ書いた人が違う印象を受ける。

**【会長】** 部会長のおっしゃるとおり、トピックスを掲げ1～2ページに収めたほうがいい。

**【事務局】** 修正する。

**【会長】** 「市の現況」と「市の特色」が繋がらない。

**【部会長】** 「市の特色」が「市の現況」より先に立たないか。

**【会長】** 特色も現況の一つであろう。すると「市の現況と特色」ということで一本化できないか。現況の中の特色であると捉えればいいだろう。「市民意識等」も「市民の願い」とでも改題すればいいのではないか。どなたかがおっしゃったように序論は「時代の潮流」のような論調で整理されていればいい。未完成でもいいので次回までに練ってほしい。

**【事務局】** 12 ページ、計画の名称に（第5次）を追加した。

**【会長】** 表紙のタイトルに計画期間を入れたほうがいいのではないか。

**【事務局】** 入れさせてもらう。

**【会長】**（第5次）はあった方がいい。積み重ねてきたことがわかるからいいだろう。15 ページの将来人口 61,500 人（平成 32 年度）は目標値か推計値か。

**【事務局】** 意味合いは目標だが、それを声高に宣言しているようにとられたくない。グラフのタイトルは「人口推計」となっているが、61,500 人の目標破線があり、わかりにくいので表現の方法を検討したい。

**【会長】**「平成 32 年度の人口 61,500 人」の標記は中見出しのようになっていて、収まりが悪いので検討してもらいたい。「将来人口の設定」という表現のほうが主体的に見えていい。また、基本計画の説明の中でいきなり「推進計画」が出てくるのがわかりにくく、検討してもらいたい。計画の進行管理に関しては、「事務事業」は「事業」でいいのではないか。役所用語でわかりにくい。政策評価、施策評価、事務事業評価という 3 分類をしているのか。

**【事務局】** 市役所内部の評価システムでこれらの表現を使っている。事務事業評価の段階から施策評価の段階へとステップアップはしているが、まだ試行の段階である。

**【会長】** これはこれからのことなので今後検討することとする。次に「主要指標」というものが出てくるが、地区ごとの人口数値を市民に見せると、色々と難しい問題が出ると想定されるので注意した方がいい。

**【事務局】** 経済規模に関しては社会的状況は考慮せず、一般的な社会波及効果で推計しているので、現状のまま推移した場合という条件での推計結果である。

**【部会長】** 農業に関しては、高齢化の進行でこれほどの就業者数を維持できるはずがなく、総生産額も維持できないのではないか。工業においては、製造業が伸びても建設業が衰退するから帳消しになるのか。

**【会長】** 21 ページの主要指標の人口の表は出す必要があるのだろうか。

**【部会長】** 産業別に見ると、どの産業も衰退しないような計画になっているが、この表の

「3 産業別就業者数」では衰退する産業も見えて整合性がとれないのではないか。

【会長】21 ページの内容は大事だから、人口設定の部分に盛り込むのがいいと思う。22 ページの就業者数や経済規模の推計値は、「市の現況」などの部分に入れ込んでもらい、「推計によれば今後このようになると考えられる」といった形で文章化するほうがいいだろう。

【部会長】私も21～22 ページの「主要指標」は文章表現にした方がいいと思う。人口の記述も「将来人口」と「主要指標」の2箇所に入っているよりも集約した方が読みやすい。

#### ◆重点プロジェクトについて

【事務局】名称は「重点プロジェクト」が適切と考える。

【会長】横断的であることは反映されているか。(2)の「人を思いやる心や人との関わりをもてる教育の推進」は抽象的過ぎるので、なくてもいい。端的な議論として、「人が増えること」が最重要なのだから、それに具体的につながるようなものが望ましい。実行するという決意が伝わるように、体言止めの表現でなく、「～します」という文末に変えてみてはどうか。

【部会長】待機児童などに関しては、本文第1章よりも強く取組むことを示しており、札幌にいる若い人に対しアピールになると思う。

【会長】大事そうなものから書いていくようにしてほしい。順序の入れ替えが必要である。

【部会長】教育に関しては、心に関する項目はあまり必要ないのではないか。

【会長】学校教育の充実が若い親を引っ張ってくるインセンティブになればよい。展開方針はいいので、それに沿って整理すればいいのではないか。

【事務局】ただ本文から抜き出すのではなく、総合して横断的な形で施策が見えるよう整理したい。

【部会長】プロジェクトは本文から離れた形でやっているのだから、表現も本文とは違った形で整理することが必要だ。

【会長】クリスマスのイルミネーションを巡るバスツアーを企画したところ、盛況だった

らしい。魅力づくりとはあのようなものだと思う。にぎわいの決め手は何だろう。エルフィンロードを整備したところでにぎわいは生まれにくい。文化的でユニークなイベントができればいいのではないか。文化的な市民活動がにぎわいをつくるのではないか。商店誘致や商業振興しただけでは、にぎわい創出は難しいだろう。

**【部会長】** 商業に関して芽はあると思う。駅周辺には良質な鮭を売っている居酒屋や、コンサートを行っている蕎麦屋もある。

**【会長】** 伝統的な祭も大事にするといいと思う。5つの地域が合流できるようなものがない。しかし、基本は市民が自発的に多様な文化を楽しんでいく中で、新しいビジネスや交流が生まれるという流れで整理してほしい。最後の「住みよい地域づくり」については、北広島団地化活性化計画の施策をもっと具体的に書いたほうが良いだろう。

**【事務局】** 住替え支援や野菜の生産と販売をすることのほかに、道外から人を呼んで一時居住などをやろうとしている。

**【会長】** 「住みよい地域づくり」というプロジェクト名は抽象的な感がある。これも人集めのためだという部分がほしいし、少子高齢化に負けないといった姿勢がほしい。すべてにおいて「打って出る」ことを表現してほしい。そんなまちは北広島のほかにそうそうないというのが私の持論である。もっとふさわしいプロジェクト名はないか。

**【事務局】** 「住みたくなる地域づくりプロジェクト」はいかがか。

**【会長】** それはいい。あとは4つの重点施策のタイトルをもっと柔らかいものをお願いしたい。

#### 4 閉 会